

# 桜を訪ねて 座光寺

麻績の里 座光寺便 2022.3 No.39

麻績の里 座光寺便 39号

令和4年3月発行 ■麻績の里ふるさと応援倶楽部(飯田市役所座光寺自治振興センター内) 長野県飯田市座光寺2535 0265-22-1401

麻績の里 座光寺に、桜の季節がやってきました。春の座光寺は、さながら花の競演。段丘の下段から上段へ、さまざまな花が時を移して咲き競います。座光寺には、地域の花である「しだれ桜」ばかりでなく、多種多様な桜が身近に自生しています。知らなかった地域の桜を知り、座光寺の春を満喫してみませんか。



麻績の里 舞台桜



最見塚の桜



上野のしだれ桜



座光寺小の桜

座光寺を代表する名桜。舞台桜、石塚桜、最見塚の桜、上野のしだれ桜、座光寺小の桜など、今年度自治委員会社会部では、地域の桜29箇所を選出しました。本紙ではその中から数種を紹介しています。

※「麻績の里 座光寺の桜29箇所」はホームページでもご覧いただけます。



座光寺 街角探訪

## 麻績の里振興委員会

### 自ら考え自ら行動する麻績の里づくり

麻績の里振興委員会は平成11年に設立、平成16年に再結成されて以来、座光寺地域自治会の特別委員会として「自ら考え自ら行動する麻績の里づくり」を合言葉に地域の有志で活動しています。

舞台桜やササユリなどの貴重な植物の保護・育成や、県宝の旧麻績学校校舎をはじめとする文化施設の保存整備・有効活用を進め、麻績の里の一体的な振興を図るため、4班編成で活動を展開しています。

- 1班:元善光寺を含めた一体的な振興
- 2班:南本城を核にした城跡の公園整備
- 3班:文化施設の有効活用、桜の保全・環境整備
- 4班:竹宵、地域と南信州の一体的な振興



### 元善光寺御開帳に向けて

4月3日から88日間の日程で元善光寺御開帳が開催されます。これにあわせ、トス助成事業を活用し「お食事処・お土産マップ」を作成しました。地域の皆さんにはもちろん、この地域を訪れた方に座光寺の魅(味)力を知ってもらい、座光寺のお店の応援をして地域全体が盛り上がることを期待しています。また、元善光寺沿道にフラワープランターを並べ、桜とともに花いっぱい座光寺で、訪れた方への「おもてなし」を予定しています。



### 麻績の里 桜まつり

麻績の里舞台桜の開花にあわせて開催する「麻績の里 桜まつり」を2年ぶりに開催する予定です。舞台校舎から眺める舞台桜は見事です。ぜひ皆さんに見てもらい桜のように明るい気持ちになってもらいたいと考えています。新型コロナウイルスの感染対策を行い、できる範囲での開催に向けて現在準備を進めています。



「自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる」をモットーに活動しています。一緒に活動できる仲間を募集中です!

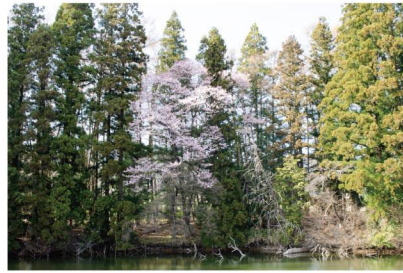
麻績振(おみしん)で地域づくりをしませんか! お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ:麻績の里振興委員会事務局 TEL.0265-22-1401



◆観音井堤の桜

推定樹齢：不明  
所在地：万才  
万才の観音井（日影田堤）にある山桜で、堤の脇に自生したのと思われま。花期は少し遅く、満開時にはその姿を湖面に映し出します。



◆大堤の桜

桜を訪ねて 〔二〕  
湖面に映える桜

推定樹齢：不明  
所在地：大堤（原）  
2つの堤のうち、重ね堤といわれる上の堤は安永8年（1778）の築造。この堤西側の緑の木々に混じって、淡紅の美しい桜が目にとまります。

◆淡墨桜  
淡墨桜（うすすみざくら）は、岐阜県本巣市の淡墨公園にある樹齢1500年余のエドヒガン



元善光寺の淡墨桜

◆芭蕉塚の桜  
飯田藩主脇坂安政（わきさかやすまさ）公が、亡き兄の菩提を弔い、飯田城下48の寺に植えた「弥陀の四十八願」（みだのしじゅうはちがんと称される桜の一つとされています。幹に空洞ができた推定樹齢350年の老木ですが、毎年品格のある薄紅色の花を見せてくれます。

◆元善光寺境内の桜

元善光寺境内には、桜をはじめ数多くの樹木・花木があります。参拝の折りにぜひ目を向けてください。



芭蕉塚の桜

桜の古木で、日本三大桜の一つとされています。元善光寺の淡墨桜は平成5年にそのひこばえを植樹したものです。

元善光寺ではこのほか、平和殿のしだれ桜、玉喜のしだれ桜などが必見です。

桜以外の樹木にも目を向けてみましょう。大きな松ぼっくりをつける「大王松」は、大空に向かって伸びる姿が印象的。推定樹齢1500年の善心光梅（ぜんしんこうばい）は、公募により命名は、春の訪れを知らせてくれる樹木です。



本巣市の淡墨桜



平和殿のしだれ桜



玉喜のしだれ桜



善心光梅



石塚桜（宮の前）



いちこ桜（北市場）



麻績の里 舞台桜（宮の前）

桜を訪ねて 〔三〕  
ライトアップされた桜

近年は多くの桜がライトアップされるようになりました。明かりを受けた桜は昼の顔と異なり、ときに妖艶な印象さえあります。花期の短い桜は、昼も夜でも、少しでも長く愛でたいですね。

桜を訪ねて 〔四〕  
石川除の桜 三題

新たな桜の名所に

湯沢誠さん（共和）から二本の桜を地域へお譲りいただきとなり、2月に移植されました。舞台桜の子どもに当たる「しだれ桜」は麻績の館の玄関前へ、淡いピンク色の花が咲く「おもいで桜」は元善光寺の公園の一角へ、それぞれ移植されました。



移植を終えたおもいで桜（左）と舞台桜ジュニア（右）



◆水神様の桜  
推定樹齢：不明  
所在地：河原  
やはり河原地区の方が植えたものと言われています。



◆水見台の桜  
推定樹齢：不明  
所在地：河原  
明治期に河原地区の方が植えた桜（メイヨシ）と言われています。



◆石川除の桜  
推定樹齢：2000年  
所在地：河原  
県史跡「石川除」の上に植えられたエドヒガンのしだれ桜。石川除が造られた江戸時代末期の天保2年（1831年）に「父野の北原民右衛門（稲男の父）」により竣工記念に植えられたものではないが（北原敬吾さん）と言われています。